

平成27年9月1日（火）



校長通信

広島市立似島小学校長 永瀬 哲治

前期後半の始まりです！

☆ 8月28日（金）夏休みが終わり、久しぶりに子どもたちの声が学校に帰ってきました。大きな病気やケガもなく、それぞれに夏の思い出ができたようです。成長した姿も見られ、うれしくなりました。

休み前、子どもたちに「何かにチャレンジしよう」と言ったてまえ、私なりに何かを・・・と思い、一念発起して【座禅体験】に行きました。日々の忙しさを忘れ、心を落ち着かせることができ、リフレッシュには最適でした。短い時間でしたが、姿勢を整え、息を整えていくと、心が穏やかになってきました。「座禅」というと大変そうですが、イスに座っていてもできます。一日に一回は座禅のようなことをやっている今日この頃です。

座禅についての本を読んでいると、日常生活でよく使っている言葉の中に禅の教えからきているものが多いということを知りました。

『挨拶（あいさつ）』という言葉は、禅問答のときに師匠と修行者とがやり取りすることからきているのだそうです。「挨」は積極的に迫ること、「拶」は切り込んでいくことを意味するそうです。互いに積極的に関わりながら、お互いの存在を確かめ合い認め合う行いが『挨拶』なのです。自分から声をかけて心穏やかに友達とつきあえると「いじめ防止」にもつながります。7日からは「あいさつ運動」も始まります。気持ちの良い挨拶ができる学校になってほしいものです。

最後になりますが、休みの間に家の都合で3年生の女子が東京へ転校しました。寂しいけれど、似島小で学んだことを新天地でも発揮してくれるように願っています。前期後半も始まり、子どもたちの更なる成長を楽しみにしています。

学校のホームページにも掲載していきます。